

**(稲又議員)**

本県は福岡の魅力を高めると同時に観光産業の振興を掲げ、欧米豪・中東からの誘客強化を掲げております。わが国の年間の訪日外国人客数は、コロナ前最多だった2019年には3,188万人あまりでしたが、2024年にコロナ前を上回り過去最高を更新。



その後も円安などが追い風となり2025年は約4,268万3,600人と初の年間4,000万人突破となりました。日本政府は4年後の2030年には訪日外国人客数6,000万人を目標に掲げており、本県もこの流れに乗っていく必要があるのではないかと考えます。私も観光地を抱えている地域選出の議員の一人として地域活性化のためのインバウンド強化は重要です。

要求資料「福岡県における延べ宿泊者数の状況について」に基づいて質問を進めさせていただきます。

それでは、資料についてご説明をお願いいたします。

**(観光政策課長)**

国の統計によりますと、速報値ではございますが、昨年の本県の延べ宿泊者

数は、約2,418万人泊で、その内訳は、日本人が約1,627万人泊、外国人が約791万人泊となっています。

コロナ前の令和元年と比較しますと、日本人はほぼ横ばいですが、外国人は約1.9倍と大幅に増加しています。

外国人の延べ宿泊者数を国・地域別に見ますと、昨年、最も多い韓国が約274万人泊で、令和元年比205%。次いで台湾が約132万人泊で、同194%、中国が約103万人泊で、同185%、香港が約76万人泊で、同166%となっており、東アジアで本県の外国人延べ宿泊者数の約8割を占めています。

また、欧米豪については、アメリカが約20万7千人泊で、令和元年比265%、オーストラリアは約8万1千人泊で、同300%、イギリスは約5万2千人泊で、同137%、フランスは約2万7千人泊で、同142%と、いずれもコロナ前と比べて大きく増加しています。

#### (稲又議員)

いずれにしても各国・地域の本県内の外国人延べ宿泊者数は増加傾向にあることが分かりました。特に外国人においてはここ7年で2倍に増えております。わが国に旅行に来る外国人の方、特に福岡空港や北九州空港に直行便が就航していない欧米豪といった国からは、東京や大阪経由で入ってくる人が多いので、いかに本県内での滞在日数を稼ぐ、つまり一日でも多く泊まって頂くということが重要だと思います。

そこで、まず、訪日外国人の平均の宿泊日数について教えてください。

#### (観光政策課長)

国の統計によりますと、日本までの移動距離が長い、欧米豪の方の平均宿泊日数が長くなっており、フランスは18.4日、イギリスは14.4日、オース

トラリアは13.6日、アメリカは12.1日となっています。

一方、日本までの移動距離が短い東アジアの国・地域では、中国が9.1日、台湾が6.5日、香港が6.2日、韓国が4日と、欧米豪と比べて短くなっています。

#### (稲又議員)

宿泊日数を増やすという事は当然、現地で飲み食いしたり、お土産買ったり、体験をしたりなど消費額を増やすということにもつながります。実際、報道によると門司港では宿泊が少ないことから1日5,000円以下の消費額と少ないことが指摘されておりまして、毎回課題に上がります。やはりいかに地元でお金を使って頂くかが経済活性化においては重要です。

そこで、訪日外国人の方が1度の旅行でどのくらいお金を使っているのか教えてください。

#### (観光政策課長)

国の統計によると、1人当たりの平均旅行支出は、欧米豪からの旅行者が高く、イギリスとオーストラリアが約39万円、フランスが約36万円、アメリカが約34万円となっています。

また、東アジアの国・地域では、中国が約25万円、香港が約23万円、台湾が約19万円、韓国が約10万円となっています。

#### (稲又議員)

今回、県では令和8年度当初予算において「欧米豪・中東からの誘客を強化」という新規事業を計上しています。改めてですが、なぜ、今回欧米豪からの誘客に力を入れるのか、その理由をお答えください。

#### (観光振興課長)

先ほど、観光政策課長がご答弁申し上げた通り、欧米豪からの旅行者は、ア

アジア圏からの旅行者と比べて滞在日数が長く、一人当たりの旅行支出も高い傾向にあることから、欧米豪市場は、本県の観光消費の拡大を図るうえで大変重要であると考えております。

また、欧米豪からの旅行者には、地域ならではの「食」や文化、自然に触れる体験など、その土地の魅力を深く知ることができる旅行を志向する傾向があるとされています。本県には、世界に誇る「食」の美味しさをはじめ、伝統工芸や豊かな自然など、こうしたニーズに応えることができる魅力的な観光資源が数多くあり、欧米豪からの誘客を進める上で、大きな可能性を有していると考えております。

#### (稲又議員)

先日、2月9日から2月13日まで WFTGA 世界観光ガイド連盟総会が福岡市で開催されました。初めての日本開催であり、世界47か国約620名の方がここ福岡に来られ、開会式には知事も来られて歓迎来賓として出席されたと伺っております。その前後にはスタディツアーが組まれ、長崎県など九州各県や、県内各地を周られました。なお、620名のうち540名、約94%は欧米から来られた方々です。私も勉強の一環で地元をご案内させていただきましたが、皆様口を揃えて言われていたのは福岡県を初めて知ったが、ものすごい都会と自然が共存していることや街並み、人の雰囲気で大感動されたわけであり、特に筑後地方、八女、柳川、宗像、そして北九州等を特筆されていました。来られていた方々はただの観光客ではありませんで、みな各国のプロの中の一流の観光ガイドの代表たちです。今後、彼らが祖国に帰り福岡県の良さを広く伝えていただくことになる貴重な機会になったと感じたところです。

今回の総会が本県で開催されたことについて、県としてはどのように受け止めておられるのか、お伺いいたします。

### (観光政策課長)

今回の総会には、世界47か国、約600名ものガイドの方々が福岡へお越しになりました。

開会式には、知事も来賓として出席し、本県が誇る「あまおう」や「八女茶」などを紹介し、参加された方に対し「食の王国 福岡」をPRしました。また、大会期間中に実施されたスタディツアーでは、大川の組子体験や柳川の川下りなど、地域に息づく伝統工芸や文化に触れる多彩な行程が組み、宿泊した原鶴温泉の旅館では、地元ならではの温かいおもてなしを体感されたと伺っています。

世界各国のガイドの方々に、本県の歴史や自然、そして食といった、多彩な魅力を知っていただく貴重な機会であったと思います。

### (稲又議員)

さて、海外からの誘客促進に取り組まれますと、観光客が増えることで抱える地域の不安、いわゆるオーバーツーリズムの問題が生じます。ごみのポイ捨てなど一部の外国人観光客の行動が、あたかも全ての外国人観光客に共通するかの様なイメージにつながるケースもありますし、特に普段、外国人との接点が少ない方ほど、同様の排他的なイメージを抱きやすい傾向があることも先日の我が会派の5,000人に行った独自調査で明らかになりました。本県では、6%の方が「個人の行動を全体の行動として捉える」と回答しており、矛先がインバウンドを推進する行政側に向く可能性も懸念されます。

今後、インバウンドがさらに増加することで、同様の苦情が増える事も想定されるため、日本独自のルールや習慣をしっかりと知ってもらうことが重要だと思いますが、県では、どのように取り組まれているのか、お答えください。

### (観光政策課長)

県では、文化や習慣が異なる訪日外国人の方を対象に、ごみの取扱いやトイレの利用方法、交通ルールといった基本的なマナーやルールを紹介するリーフレットを多言語で作成し、福岡空港国際線をはじめとする観光案内所等に配架するとともに、県の海外向け観光ウェブサイトでも情報発信し、周知を図っております。また、海外からの旅行者の方と接する機会が多い観光案内所スタッフ等を対象に、基本的マナーの伝え方を学ぶ研修を実施しています。

こうした取組を通じて、海外からの旅行者の方に日本のルールやマナーについての理解を深めていただき、日本旅行を楽しんでいただくとともに、地域の方々にも快く訪日外国人を受け入れてもらえるよう努めているところです。

#### (稲又議員)

そこで最後に本県への欧米豪からの観光客誘致における部長のご決意をお願いいたします。

#### (商工部長)

先ほど、課長がご答弁申し上げました通り、滞在日数が長く、一人当たりの旅行支出の高い欧米豪からの誘客を強化していくことが、本県の観光消費の拡大を図るうえで重要であると考えております。

このため、イギリス、フランス、アメリカ、オーストラリアに、本県の魅力を発信する観光誘客拠点を設置し、これらを通じて、現地旅行博への出展や現地メディア・旅行会社向けに最新観光情報の発信を行っているところです。

福岡県には、世界に誇る食文化、長い歴史に培われた伝統や祭り、豊かな自然など、魅力ある観光資源が数多くあり、欧米豪の旅行者にとっても大きな魅力となるポテンシャルを有しております。

県としましては、オーバーツーリズムへの配慮も図りつつ、欧米豪からの誘客に全力で取り組んでまいり決意でございます。